

クレジットカード等のタッチ決済による新たなキャッシュレス乗車システムの導入 ～北國フィナンシャルホールディングスが掲げる「Super Cashless Region」との共創～

北陸鉄道株式会社(本社:石川県金沢市、代表取締役社長:宮岸武司、以下「北陸鉄道」)・北陸鉄道グループ及び株式会社北國フィナンシャルホールディングス(本社:同市、代表取締役社長:杖村修司、以下「北國FHD」)は、三井住友カード株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:大西幸彦)が提供する公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用し、クレジットカード、デビットカード又はプリペイドカード(以下「クレジットカード等」)によるタッチ決済やデジタル乗車券で交通機関がご利用いただける新たなキャッシュレス乗車システムを導入します。

これは、北國FHD及びビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:シータン・キトニー)が当地域におけるキャッシュレス推進事業として掲げる「Super Cashless Region」との共創により実施するもので、導入初年度となる令和5年度は来春の北陸新幹線延伸にあわせ加賀エリア及び金沢エリア(一部)を対象に令和6年3月からサービスを開始し、令和7年度までに対象範囲を県内全域(北陸鉄道グループバス・鉄道線)まで拡大する計画です。

なお、北陸鉄道グループが平成16(2004)年に導入した交通系ICカード「ICa」(アイカ)のサービスはそのまま継続します。また、ご利用範囲を現在の金沢都市部バスから県内全域の北陸鉄道グループバス・鉄道線まで拡大する計画です。

1 キャッシュレス乗車の種類

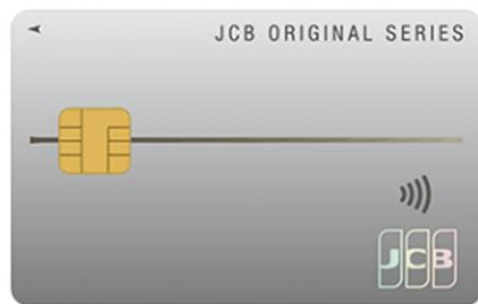
(1) タッチ決済対応カードによる乗車

国際ブランドのVisa、JCB、American Express、Diners Club、Discoverによるタッチ決済対応カードがご利用になります。お客さまには交通系ICカードと同様に乗降時にクレジットカード等を専用端末にタッチしてご利用いただきます。

<ご利用可能なタッチ決済対応カードの例>



【北國 Visa デビットカード】



【北國 JCB カード】

※三井住友カード(株)が発行する Visa カードや(株)ジェーシービーが発行する JCB カードなど、全世界で発行されているタッチ決済対応カード等もご利用になれます（一部を除く）。

(2) デジタル乗車券による乗車（令和6年度以降にサービス開始予定）

金沢 MaaS コンソーシアムが運営するデジタル交通アプリ「のりまっし金沢」で販売するデジタル乗車券がご利用になれます。デジタル乗車券に表示される二次元コードをかざすことで乗降可能となり、チケット確認を係員の目視から機械判定に変更することで、お客さまによりスムーズなご利用環境を提供します。

(3) 北陸鉄道グループ IC カード「ICa」による乗車

平成 16（2004）年、北陸鉄道グループの交通系 IC カードとしてサービスを開始した「ICa」については、ご利用範囲を現在の金沢都市部バスから石川県内全域の北陸鉄道グループバス・鉄道線に拡大する計画です。これに伴い、県内全域で交通系 IC カード「ICa」による定期券利用や SF 利用が可能となります。



【ICa】

2 新たなキャッシュレス乗車システムの特徴

クレジットカード等によるタッチ決済やデジタル乗車券で交通機関がご利用いただける新たなキャッシュレス乗車システムの主な特徴は下記の通りです。

①便利でお得なお客さまサービスの柔軟かつ迅速な展開

決済処理（運賃精算）をクラウドサーバーで行うため、割引運賃や定額運賃の導入など柔軟な運賃施策を迅速かつタイミング良く打ち出すことが可能となり、公共交通離れに歯止めをかける有効なツールとして活用できます。

②他業態の消費行動と連携し地域振興に貢献

物販店や飲食店等における消費行動と公共交通利用をセットにした利用促進策を打ち出し、公共交通だけでなく他業態との連携を通じて、まちの賑わい創出を伴った地域振興に貢献します。

③既にお持ちのクレジットカード等でご利用いただける環境の提供

公共交通のご利用頻度が低く交通系 IC カードを所持していない方でも、クレジットカード等をお持ちの方は多いと見込まれるため、すぐにバス・電車のキャッシュレス乗車をご利用いただける環境を提供します。

④世界に開かれた観光文化都市としてのイメージアップに貢献

クレジットカード等によるタッチ決済乗車は海外で広く普及していますが、訪日外国人は既

に所有している自国発行カードがそのまま利用できるため、公共交通利用に対する乗車抵抗が軽減され、公共交通機関のご利用を通じて世界に開かれた観光文化都市としてのイメージ向上に貢献します。

⑤キャッシュレス乗車を当社グループ運行エリア全域に拡大

これまでキャッシュレス乗車が未対応であった、鉄道線（石川線及び浅野川線）及び過疎化が進む能登・加賀地区までキャッシュレス乗車を拡大し、公共交通離れの抑止に取り組みます。

3 その他

(1) Visa によるタッチ決済乗車の導入状況（ビザ・ワールドワイド・ジャパン(株)調べ)

ア 国内

26 都道府県 44 プロジェクトで導入（2023 年 7 月時点）

イ 海外

世界各地 650 以上の公共交通機関で導入（2022 年 12 月時点）

(2) 本事業への他の参画事業者

株式会社ジェーシービー、QUADRAC 株式会社、レシップ株式会社、株式会社ホクリコム

以上